



西富士道路と田子浦臨港線建設に伴い、昭和53年5月から2年4ヶ月の歳月をかけた西富士道路埋蔵文化財発掘調査は、伝法A地区からF地区までの6地区、約5万平方メートルの現地調査を終わりました。

発掘調査の結果、伝法A地区とした東平遺跡からは、奈良時代のころの住居址や倉庫などが多数発見され、大規模な集落であったことが確認されました。

伝法F地区とした横沢古墳からは、金銅製の鈴や馬の道具などが、B地区からは室町時代から江戸時代の初めにかけての墓と考えられる土塚群が発見されました。

これらは、いずれも中世・あるいは近世の生活様式を知るうえで貴重な資料となり、現在、西富士道路埋蔵文化財発掘調査事務所では、整理検討作業を進めると同時に、これらの調査をまとめた報告書を来年の4月に発行する予定です。

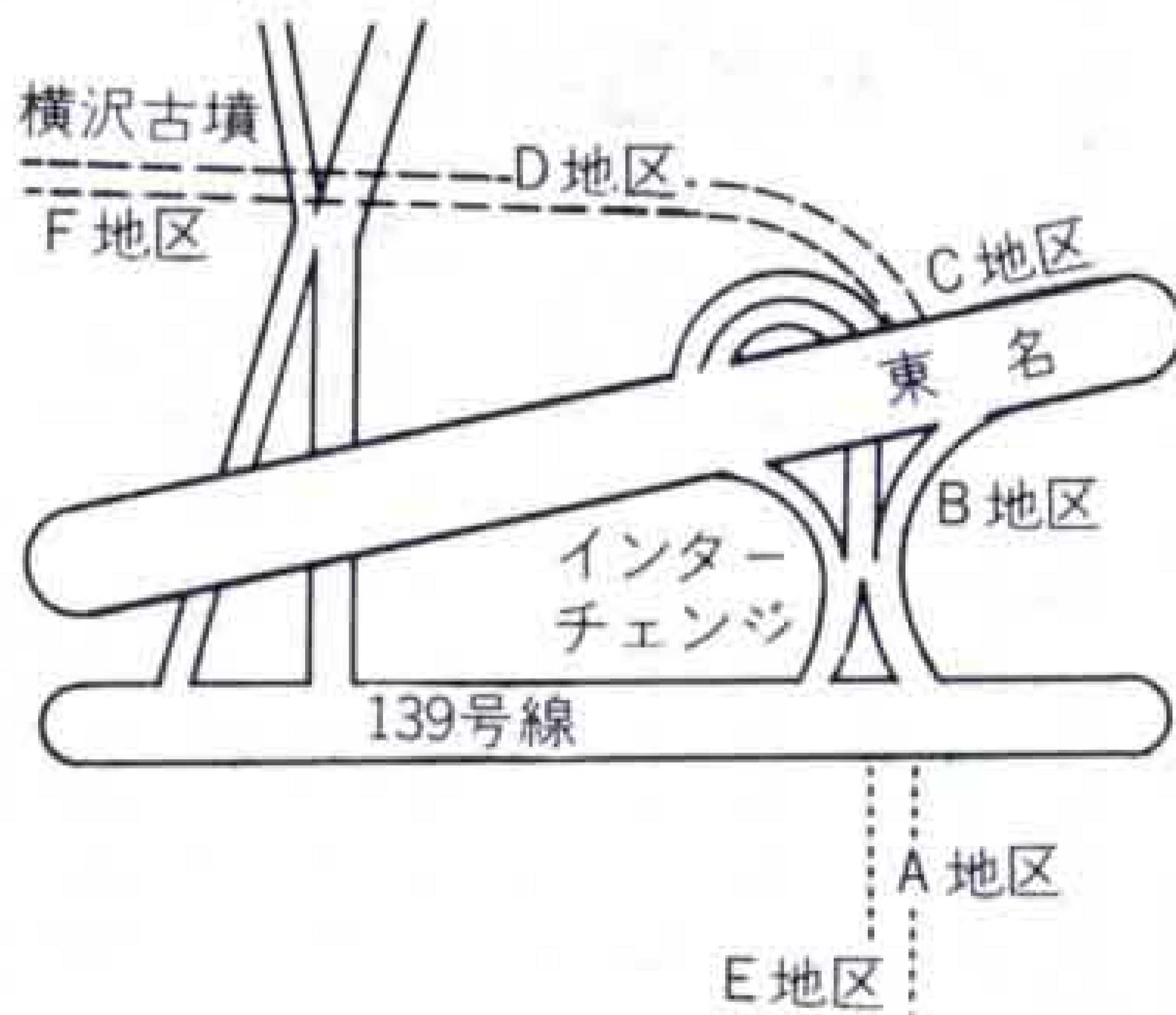
# 古代の歴史をさぐる

## 西富士道路の発掘調査終わる

### A地区

#### 県内最大の住居群

今回の発掘調査のなかでも特に中心となったのは、伝法A地区とした東平遺跡の調査解明であり、1年9



ヶ月にわたって行われました。

その結果、奈良から平安時代始めのころの住居址130軒と、倉庫あるいは住居と思われる掘立柱建造物址53棟を発見。

昭和40年、東名高速道路建設当時の調査と合わせると、堅穴住居址250軒、掘立柱建造物址61棟となり、これはこの時代のものとしては、県内でもまれな大集落となることがわかりました。

住居址の中からは、「須恵器」と呼ばれる灰色の土器や「土師器」と呼ばれる素焼きの土器、鉄製の小刀、鎌、やじり、糸車などが多く出土しています。

これら出土品の中でも特に注目されるのは、奈良時代の役人が使っていたと思われる帯金具が発見されたことです。この帯金具は、普通の集落では出土しないため、東平遺跡が他の集落とは異なり、律令体制のなかでの地方の中心的役割を果たしていた集落と考えられます。

### B地区

#### 六文銭で三途の川を

伝法B地区からは、室町時代から江戸時代の初めにかけての墓と考えられる土塚が約400基と、溝状遺構など10本を発見。

土塚十数基の中からは人骨に伴い、天目茶碗、火打ち石、小柄、古銭な



### 親は無責任過ぎませんか

ちかごろテレビドラマの先生ものが人気を呼んでいます。

厳しさとやさしさをわきまえて、

どんな子にもよく目をかけ公平に愛情を注いでくれる理想の先生の活躍が人気の秘密なのでしょう。

ところが私は、PTAの会合に出席して驚いたことがあります。

いくら先生が優秀でも家庭の協力がなしに子どもの教育はできるはずがないのに、あまりにも親が無責任、無知だと思ったのです。

例えば「下校途中で買い食いをするので注意してほしい」などに代表される意見です。私の知っている限

りでは、買い食いはアイスやジュースが主です。しかも仲間同士でおごり合っているのを見ます。

家族といっしょの夕食まで、どうしてがまんできないのでしょうか。

昔の親は、貧しさを子どもにも話し、お金のありがたみを教えました。親が子に好き放題をさせ、「責任の転嫁を先生に」では、昔の親にはかなわないと思うのですが、どうでしょうか。 (一主婦)